

令和元年 秋の叙勲・褒章

おめでとうございませう

令和元年11月3日に秋の叙勲などが発表され、本市から3人が受章しました。

瑞宝双光章

荒忠夫さん

(77歳・富沢)



荒さんは相馬市出身。昭和36年に相馬市消防団に入団し、約60年にわたり火災、水害などから市民の生命や財産を守るため尽力しました。
東日本大震災の時には相馬市消防団の団長として陣頭指揮をとり、人命救助などに尽力しました。
(荒さんのひと言)
家族と各団員の協力で消防団を勤め上げることができ、感謝しています。

瑞宝双光章

木村一正さん

(67歳・石上)



木村さんは相馬市出身。昭和47年に相馬地方広域消防本部の消防士を拝命し、新地分署長、同本部警防課長を勤めました。
退職するまでの約40年にわたり、火災現場に出勤して消火活動に当たったほか、火災を未然に防ぐための予防活動にも尽力しました。
(木村さんのひと言)
家族や職場の同僚、地域の方に協力をいただいたことに感謝しています。

藍綬褒章

阿部繁雄さん

(64歳・今田)



阿部さんは相馬市出身。昭和54年に相馬市消防団に入団し、約40年にわたり火災、水害などから市民の生命や財産を守るため尽力しました。
現在も相馬市消防団分団長として市の防災活動に尽力しています。
(阿部さんのひと言)
家族などの協力で感謝しています。今後は後進の育成に力を入れていきたいと考えています。

熱戦を展開 相馬松川浦カップ



2019相馬松川浦カップ全国PG選手権大会は11月30日、12月1日相馬光陽パークゴルフ場で開催されました。北海道、東北、関東などあわせて524人が出場しました。競技は、本丸A・B・C、などの9コース、81ホールストロークプレーで行われ、参加者たちは2日間に渡り熱戦を展開しました。

長年の活動に感謝

厚生労働大臣感謝状伝達式

民生委員、児童委員および主任児童委員厚生労働大臣感謝状伝達式は12月10日、市役所で行われ、受賞者14人が出席しました。

感謝状は、6年以上民生委員、児童委員の職に当たった方で、その任期を終えた方に贈られるものです。

●感謝状受賞者は次のとおりです(敬称略・順不同)

- ▽栃久保淑子▽前山万里子▽澁谷光昭▽大矢巖▽高野八重子▽安齋征夫▽柳澤英子▽渡部晴秀▽吉田徳夫▽山下利雄▽荒川綾乃▽中城テル子▽唯野一郎▽菊地みのり▽荒ヨリ子



スポーツ

笑顔の教室

スポーツ笑顔の教室は、各スポーツの分野で活躍した方を夢先生と位置づけ、夢先生が子どもたちと触れ合いながら夢を持つことの素晴らしさを伝えるプロジェクトです。

11月20日 磯部小 櫻谷勉 (ラグビー)



11月25日 中一中 首藤甲子郎 (ラグビー)



11月28日 磯部中 井野亜季子 (バレー)



楽しく体を動かそう ヘル・スポフェスタ



ヘル・スポフェスタは11月17日、相馬こどもドームで開催され、約300人の親子連れなどが参加しました。

震災以降、外で体を動かす機会が減った子どもたちに家族ぐるみで体を動かす習慣づくりをしてもらうことを目的に、東京女子体育大学が主催。会場には、ミニ野球ゲーム、ボールを箱に投げ入れる親子体力測定、食育アプリ体験などさまざまなブースが設けられたほか、総合司会としてお笑いコンビのガリットチュウが登場して場の雰囲気盛り上げました。

全国での活躍に期待

スポーツ大会出場報告

スポーツ大会出場報告は12月13日、市役所で行われ、全国大会へ出場する選手らが佐藤憲男副市長に報告しました。

国都道府県対抗中学バレーボール大会（大阪市）12月25日

報告を行ったのは、県バレーボール協会に選出された佐藤楓也選手（磯部中3年）、横山大翔選手（磯部中3年）、佐藤瑛也選手（磯部中2年）。選手を代表して楓也選手が「支えてくれた保護者に感謝しながらがんばってきます」と大会への決意を述べました。



東北大会出場報告 相馬太鼓部



東北大会出場報告は11月22日市役所で行われ、相馬高等学校相馬太鼓部の部員らが高橋利宗

生涯学習課長に報告しました。

相馬太鼓部は、9月22日に南会津町で行われた「第22回日本太鼓ジュニアコンクール福島県支部大会」で第5位に入賞、県代表に選ばれ、11月10日の「第8回東北太鼓ジュニアコンクール」（名取市）に出場。

相馬太鼓部を代表して羽根田有華さんがあいさつし、高橋生涯学習課長がねぎらいの言葉を贈りました。

日本の伝統行事を体験 さくら子ども教室



さくら子ども教室は12月2日、大野公民館で開かれ、親子連れ約80人が訪れました。

同教室は、児童の放課後の安全な居場所を設けるとともに地域に根差した体験活動などを桜丘小学校で行っています。当日は、同教室の毎年の恒例イベントである、昔ながらの臼ときねを使った餅つき大会を開催。

子どもたちは、重いきねを使って「ぺったんぺったん」と声を掛け合い、餅つきを楽しみながら日本の伝統文化に触れました。

できあがった餅は、きな粉餅と雑煮に調理され、親子仲良く一足早い正月気分を味わいました。

新品種を初収穫

和田観光苺組合

和田観光苺組合の3人は12月3日、市役所を訪れ、新品種のイチゴ「かおり野」を立谷市長に届けました。

訪れたのは、和田観光苺組合の岩本孝組合長、組合員の山中賢一郎さんと齋川一朗さん。

かおり野は、その名のとおりとても甘い香りが広がるのが特徴。

岩本組合長が「多くの皆さんにイチゴ狩りを楽しんでもいただけるように、皆でもてなしたい」と述べました。

和田観光苺組合のイチゴ狩りは、1月12日にオープンします。



市への誘客を活性化

要望書提出



ビーチバレーボール常設コート設置の要望書提出は11月28日、市役所で行われました。

訪れたのは、草野清貴相馬スポーツツーリズム推進協議会会長、阿部孝志市体育協会会長、齋藤栄吉相双バレーボール協会会長、加藤修吾相双ビーチバレーボール連盟会長、菅野正三松川浦観光旅館組合組合長、館山友美子市ホテル旅館組合組合長の6人。

県内でも数少ないビーチバレーボールコートを建設することによって、大会や合宿などの誘致を行い、宿泊客や交流人口の増加を図ることを目的に要望書が提出されました。

創意工夫が榮譽を受ける

県発明展受賞報告



第65回福島県発明展受賞報告は12月5日、市役所で行われ、受賞した3人が立谷市長

に報告しました。

訪れたのは、県知事賞を受賞した稲垣羽南さん(桜丘小3年)、一般社団法人県発明協会長賞を受賞した村井果歩さん(八幡小6年)、奨励賞を受賞した佐藤権地さん(磯部小4年)の3人。

立谷市長は、受賞者が持参した作品を手に取り「受賞おめでとう。とてもよく考えて作られている」と感心した様子で受賞者をたてました。

親子の絆を深める

みんなで子育てワイワイショップ

みんなで子育てワイワイショップは11月24日、総合福祉センター(はまなす館)で開かれ、親子連れ約170人が訪れました。

イベントは県の子育て支援を進める県民運動に合わせて、親子の絆を深めるために毎年開催しているものです。

会場には「お店屋さんで遊ぶうこコーナー」が設けられたほか、参加者はカードづくりや魚釣りなどを楽しみました。



小・中学校

避難訓練

各小・中学校で避難訓練が行われ、児童・生徒らは災害などから安全で迅速に避難する方法を学びました。

11月14日 磯部小・中



11月26日 向陽中



11月28日 中二中



看護の道への決意新たに 看護専門学校戴帽式

相馬看護専門学校戴帽式は11月15日、同校体育館で行われ、19期生42人が看護師としての新たな一歩を踏み出しました。

戴帽式は、看護学生が看護への認識や決意を新たに誓いの儀式で、戴帽生は一人ずつ登壇してナースキャップを被せてもらい、ナイチンゲール像のキャンドルから自分のキャンドルに火を灯し、整列した後、全員でナイチンゲール誓詞を唱和。

戴帽生代表の佐藤彩乃さんが「今日の日を新たなスタートとして、夢に向かって日々精進します」と誓いのことを述べました。



自分で掘った サトイモが給食に

飯豊小



飯豊小学校の給食に12月3日、3年生40人で植えたサトイモ（相馬土垂）が提供されました。

サトイモは、子どもたちが小学校近くの畑に苗を植え、11月26日に掘り起こしたものを給食の献立は、ひじきごはんにきりたんぼ汁などで、給食を目にした児童らは、自分たちが育てたサトイモが給食で食べられるという喜びからうれしさがこみ上げ、給食開始の号令を待ちきれない様子でした。

きりたんぼ汁の中にサトイモを見つけると、児童らは大きな口でほお張り、笑顔がこぼれていました。

皆さんから市に届いた義援金・支援物資など（一部抜粋して紹介）

10月29日 ケルヒージャパン株式会社



11月22日 株式会社アイ・テック



11月22日 福島はじめ（歌手）、AINEWORKS



11月25日 株式会社相和技術研究所



12月2日 大野公民館学習展実行委員会



12月2日 株式会社東北建設



12月2日 相馬仏教会



12月5日 ふるさと相馬を愛する会



令和元年台風19号および10月25日大雨の被害に対する義援金などです。

※一部抜粋して紹介しています。

※敬称を省略しています。